

## 琵琶湖博物館第三次中長期基本計画(案)について

### 1 策定経過

- 令和2年10月5日 環境・農水常任委員会(計画策定について)  
令和2年12月4日 琵琶湖博物館協議会(現行計画総括、計画素案提示)  
令和2年12月15日 環境・農水常任委員会(計画素案提示)  
令和3年2月4日 琵琶湖博物館協議会(計画素案提示)

### 2 計画(素案)からの主な修正点

#### サブタイトル

- 「湖と共に生きる暮らしの中に、いつもある博物館」から「出あい、学びあい、琵琶湖を世界へ発信する博物館へ」に修正(本編表紙)

#### 1-3 (2) 琵琶湖博物館の課題

- 活用範囲を館内だけにとどめるのではなく、基本理念「フィールドへの誘い」の一環として行うべきとして修正(本編P5)

- 地域の人々と共に行う活動についての意義をより詳細に追記(本編P6)

#### 3-1 琵琶湖博物館の使命から想定される10年後の社会の姿

- 10年後の社会における琵琶湖博物館の役割について、博物館が何をすることで気づきを喚起できているかを追記(本編P8)

#### 3-3 事業目標2

- 資料の収集方針に関する記述を追記(本編P10)

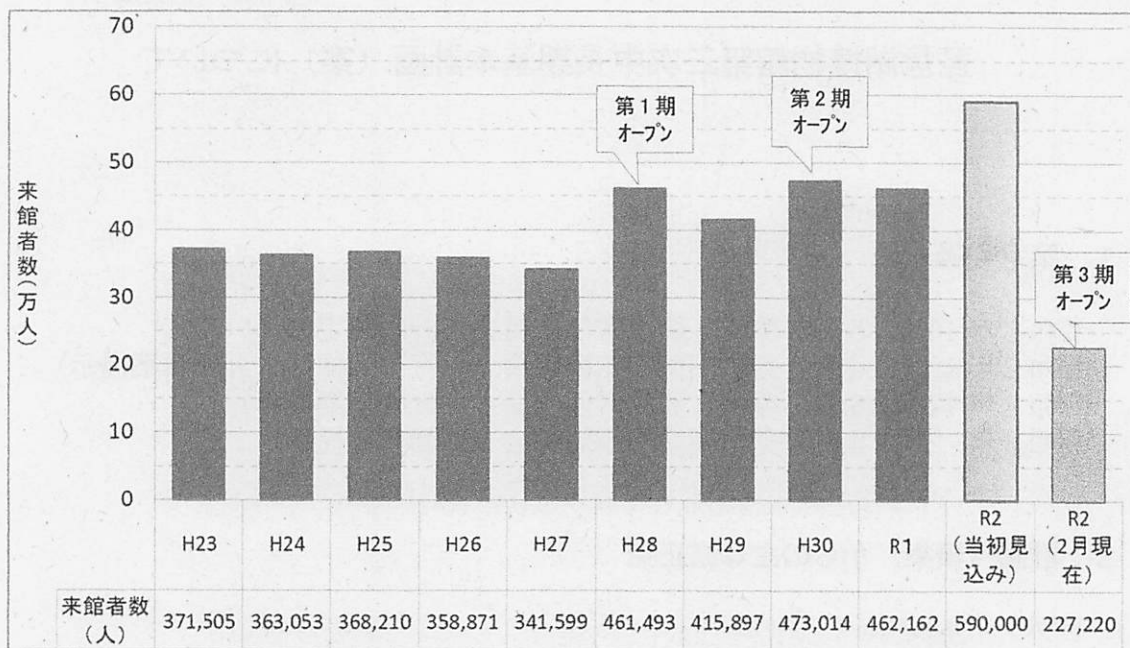
#### 3-3 事業目標3

- 交流事業に係る従来の支援活動に加えて、オンラインプログラムの位置づけを追記(本編P11)

### 3 今後の予定

令和3年3月 計画策定・公表

#### 4 来館者数について (1) 来館者数の推移



#### (2) 今年度の来館者数の状況等

新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年2月28日から6月1日まで休館するとともに、開館後は入場制限を実施している。

このような中、当初の予定より約3カ月遅れたものの、10月10日に3期6年にわたるリニューアルを完了し、グランドオープンを迎え、マスコミ関係者を招待した内覧会を開催するなどの取組を行った結果、多くのメディアに取り上げていただいた。

秋以降は、前年度並みの来館者を確保できた月もあったが、1月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発出されたことにより、来館者数は減少した。

10月 43,765人 (対前年比 83%)	1月 17,300人 (同 60%)
11月 46,298人 (同 131%)	2月 19,794人 (同 85%)
12月 16,622人 (同 107%)	

#### 5 来年度の取組(広報)について

博物館のリニューアル効果を高めるため、情報を広く発信することで、来館者の確保を図るとともに、誰もが利用しやすい環境づくりを目指す。また、県民が参加できる博物館として、博物館を利用した活動の紹介などの取組を展開するとともに、コロナ禍終息後には、遠方からの来館者を獲得するために、メディアへの露出やSNS等による発信を継続的に広げ、博物館の認知度向上に努めていく。